

平成23年度第2回理事会の開催

平成23年度第2回理事会が、平成23年6月28日、明治記念館・丹頂の間において開催された。

本会議では、協議事項として、①「第68回通常総会対応に関する件」、②「現顧問の委嘱継続の件」について協議し、了承された後、次に報告事項として、①「東日本大震災被災対策として「支援義援金」及び「救援見舞金」を送金したこと等の件」、②「業務運営概況等の件」について報告され、一時中断し、第68回通常総会閉会后、千歳の間にて、本理事会を再開し、議決事項として、「事務局長事務取扱発令の件」が可決承認された（第2回理事会の議事概要は下記のとおり）。

平成23年度第2回理事会の議事概要

- I 日時：平成23年6月28日（火）
10:45～11:45, 17:00～17:20
- II 場所：明治記念館・丹頂の間、千歳の間
- III 出席者：
- 【会長】山根義久
【副会長】藏内勇夫、中川秀樹
【専務理事】大森伸男
【地区理事】波岸裕光（北海道）
砂原和文（東北）
高橋三男（関東）
村中志朗（東京）
谷達雄（近畿）
湊惠（四国）
麻生哲（九州）
【職域理事】酒井健夫（学術・教育・研究）
細井戸大成（開業（小動物））
榛葉雅和（畜産・家畜衛生）
森田邦雄（公衆衛生）
横尾彰（家畜共済）
近藤信雄（動物福祉・愛護）
【監事】玉井公宏、岩上一紘
（欠席：書面表決）駒崎精彌（中部地区理事）
瀧口次郎（中国地区理事）

IV 議事：

【協議事項】

- 1 第68回通常総会対応に関する件
- 2 現顧問の委嘱継続の件

【報告事項】

- 1 東日本大震災被災対策として「支援義援金」及び「救援見舞金」を送金したこと等の件
- 2 業務運営概況等の件

【議決事項】

事務局長事務取扱発令の件

V 会議概要：

【会長挨拶】

冒頭、山根会長から次の挨拶がなされた。

本日は、第68回通常総会開催前の平成23年度第2回理事会ということで、現執行部最後の理事会です。十分なご審議をよろしく願います。

どこへ行きますとも東日本大震災の話題ばかりです。発生から既に3カ月半経過したわけですが、未だに避難所で生活をされている方々が7千人以上おられるということで、異常な事態が続いています。動物も相当な数が犠牲になったと思われませんが、正確な数さえ把握できていないという状況です。ましてや20キロ圏内の警戒区域内には、牛が1千頭、豚が200頭走り回っているということも事実です。これに対し政府は5月12日に全頭安楽殺処分ということを決定しましたが、何処にもそれを覆い隠すブルーシートが現れてこないというのも現状です。動物救護、これは犬や猫、伴侶動物も入るわけですが、家畜を忘れてはいませんかということです。今後、日本獣医師会としても動物全般にわたっての救護についての対策を検討しなければならないと考えています。お陰様で会員のご努力、ご支援によりまして6月27日時点で1億6百万円の義援金が集まりました。すでにこの中の5千6百20万円は支援義援金として地方獣医師会に送金しています。さらに、日本獣医師会から支援見舞金として1千万円を送金いたしました。残りの義援金については、目的をもう少し絞って動物医療に目を向けて支出する考えです。

本日の午後1時30分から第68回通常総会が開催されますが、その時に新執行部が誕生しますが、メンバーも相当替わるのではないかと考えられます。全国の地方獣医師会でも私が把握している限り、18の地方獣医師会会長が代わるということです。これを契機に再出発ということになるのではないかと思います。

昨年度は未曾有の出来事がいくつか起こりました。そういった意味からもう一度根底から見直し、獣医師会の使命はどこにあるのかということも考えなければなら

いのではないかと考えています。

各地方獣医師会の総会に招かれましたが、そのうちのいくつかの獣医師会では、おかしな雰囲気が出てきています。地方会の中に新しい一般社団法人を立ち上げる者が出てきたということです。公序良俗に反すると申しますか、あるまじき行為ではないかと個人的には思います。何故かと申しますと、これまで公益の社団法人として、そしてその構成員としての誇りを持って、公序良俗に反するグループに対しての憤り、抗議していた方々が、片や自分たちの権利の追求のために一般社団法人を新たに立ち上げるといった行動に出たからです。今までどこに理念があり、どのような哲学があったのか、私は疑問を感じるわけです。今後、権利の要求、規制緩和の名の下にますます増えるのではないかと思います。私たちは獣医師であるが故に、人のできない仕事ができる、人になく技術と知識があるから人のできない仕事がやれるということから、我々獣医師は相当大きな重荷を背負っていると感じます。そういった覚悟でおりますので、皆様と一致団結してこの難局を乗り越えていこうと思っています。今後ともよろしくご指導の程お願いします。

最後になりましたが、本日出席の理事の皆様がそれぞれの地区に帰られましたなら、今回の理事会の内容を各地区内の獣医師に行き渡るようよろしくお願いいたします。

【議長就任・議事録署名人の指名】

続いて、山根会長が議長に就任し、砂原、近藤両理事を議事録署名人に指名して会議が次のとおり行われた。

【協議事項】

1 第68回通常総会対応に関する件

大森専務理事から、第68回通常総会における議事運営等について説明が行われた後、了承された。

2 現顧問の委嘱継続の件

大森専務理事から、定款では、顧問は理事会承認を受

けて、会長が委嘱することとされているが、その任期は規定されていない。については、現在の北村直人、五十嵐幸男両顧問が、新執行部の体制の下でも引き続き就任いただくことについて、今回の役員改選に合わせ、現理事会で確認いただきたい旨説明された後、了承された。

【報告事項】

1 東日本大震災被災対策として「支援義援金」及び「救援見舞金」を送金したこと等の件

大森専務理事から次のとおり報告された。

6月27日までに約1億円の支援義援金が集まったが、6月1日開催の平成23年度第1回理事会で決定された、「東日本大震災被災対策に係る支援資金（支援義援金及び救援見舞金）配分（拠出）の考え方」に基づき、第1次配分として、支援義援金は計5,720万円を、救援見舞金は日本獣医師会の資金から計1,000万円を拠出したこと、なお横浜市獣医師会及び川崎市獣医師会においては、送金の受け取りを保留中である旨が報告された。

2 業務概況等の件

大森専務理事から、前回理事会以降（平成23年5月21日以降平成23年6月20日まで）の業務概況について説明が行われた。

【議決事項】

事務局長事務取扱発令の件

大森専務理事から、本会事務局組織規程により、管理職である事務局長の任命は、理事会の承認を受け、会長が任免することとなっており、新たに7月1日から就任する新専務理事についても、現専務理事と同様に当分の間、事務局長事務取扱、事務局長兼任の人事発令をすることについて本理事会の承認を求める旨、説明された後、本議案は異議なく承認された。